



「バックエンド部会」

第59回全体会議

日時: 2023年9月7日(木) 12:05~12:55

会場: 日本原子力学会「2023年秋の大会」

E会場(オークマ工学機械工学館1F オークマホール)

「バックエンド部会」第59回全体会議



2023年9月7日(木)12:05～12:55 E会場

【議事次第】

- 部会長挨拶
- 2023年度活動中間報告
 - ① 企画報告(企画セッション、夏期セミナー、PSWG他)
 - ② 広報報告(部会HP小委員会活動、週末基礎講座)
 - ③ 出版報告(部会誌の発行状況他)
 - ④ 庶務報告(海外発表助成・研究会支援制度他)
 - ⑤ 会計報告(収入・支出実績)



坂本部会長挨拶



2023年度活動中間報告

①企画A報告【大会・年会における企画セッション】



【2023年秋の大会】

□バックエンド部会 企画セッション

[2E_PL] 廃棄物管理のバリデーション・性能担保の考え方

2023年9月7日(木) 13:00 ~ 14:30 E会場 (オークマ工学機械工学館1F オークマホール)

座長:小畑 政道

- | | |
|--|-------------|
| [2E_PL01] 浅地中処分の性能の検証および妥当性確認の事例 | 小澤 孝(日本原燃) |
| [2E_PL02] 中深度処分の規制基準の考え方 | 青木 広臣(規制庁) |
| [2E_PL03] 長期間を対象とした高レベル廃棄物の管理 | 梅木 博之(NUMO) |
| [2E_PL04] 原子炉の運転についての安全確保の考え方 | 糸井 達哉(東大) |
| [2E_PL05] 意見交換・議論「長期の安全性確保に必要なバリデーション」 | 講演者全員 |

【2024年春の年会】

企画のアイデア・ご希望がございましたら、運営小委員会委員までご連絡ください！！(後日に部会メールサービスで案内)



【ICRP国際シンポジウムサテライトイベント】

- 第7回国際放射線防護委員会国際シンポジウム(ICRP2023)の開催に合わせて
バックエンド部会主催によるサテライトイベントを開催

2023年11月11日(土) 09:30 ~ 12:30 グランドニッコー東京29階 銀河

「放射性廃棄物処分に関する放射線防護～長期の不確実性への対処を考える」

協賛:原子力発電環境整備機構, 一般財団法人 電力中央研究所

後援:原子力規制委員会

構成:講演とパネルディスカッション

ICRP 勧告の検討動向(仮題)

我が国における放射性廃棄物処分に関する規制(仮題)

地層処分における閉鎖後長期の放射線安全の確保(仮題)

浅地中処分における閉鎖後長期の放射線安全の確保(仮題)

パネルディスカッション

①企画A報告【2023年秋の大会 プログラム編成委員】



■ 以下の方々にプログラム編成にご尽力いただきました。

コード	専門分野	WGリーダー	WGメンバー
505-1	放射性廃棄物 処理	桜木 智史 (原環センター)	有馬 立身(九大) 川崎 大介(福井大) 佐藤 淳也(JAEA)
505-2	放射性廃棄物 処分と環境	尾上 博則(NUMO)	近藤 陽太(日立GE) 桜木 智史(原環センター) 中林 亮(電中研)
505-3	原子力施設の 廃止措置技術	中村 保之(JAEA)	中村 保之(JAEA) 早野 明(JAEA) 尾上 博則(NUMO)

(敬称略)



①企画A報告【専門委員会】

□「地層処分のセーフティケースに係る様々なステークホルダーを対象とした理解促進に関する方法の検討」特別専門委員会

- 設立期間:2021年9月～2024年3月
- 地層処分に特有の概念や用語に対する専門家間の認識のずれ、セーフティケースの分かりにくさの原因を整理
- 上記を解消するための重要な用語の解説、コミュニケーション上の配慮事項等を取りまとめ、実践を通じてコミュニケーションのための知識ベースを構築

①企画B報告 【第39回バックエンド夏期セミナー】



とき : 2023年8月24日(木)25日(金)

ところ : ハイブリッド開催(対面+オンライン(ZOOM会議))

テーマ : バックエンド分野の将来ビジョン ~実現に向けた人材育成~

参加登録者数: 86名(対面49名、オンライン37名)

・講演7件

北海道大学工学研究院

小崎 完 氏

文部科学省原子力課放射性廃棄物企画室

原 真太郎 氏

JAEAバックエンド統括本部

瀧谷 啓晃 氏

原子力環境整備促進・資金管理センター

徳島 秀幸 氏

日本原燃株式会社埋設事業部埋設計画部

樋口 智也 氏

株式会社IHI 資源・エネルギー・環境事業領域 原子力SBU

(兼)東双みらいテクノロジー株式会社

福井 寿樹 氏

清水建設株式会社土木技術本部

土 宏之 氏

・ポスターセッション: 10件

- ショートプレゼンテーション

- 意見交換、質疑

ポスターセッションについては、優秀ポスターを決定し、春の年会で表彰を行う。

①企画B報告 【第39回バックエンド夏期セミナー】



・グループディスカッション

・パネルディスカッション

座長 : 小峯秀雄氏(早稲田大学)

パネリスト: 瀧谷 啓晃 氏(JAEA)

徳島 秀幸 氏(原子力環境整備促進・資金管理センター)

樋口 智也 氏(日本原燃株式会社)

福井 寿樹 氏(株式会社IHI資源・エネルギー・環境事業領域 原子力SBU
(兼)東双みらいテクノロジー株式会社)

土 宏之 氏(清水建設株式会社)

・見学会: 北海道新幹線シールドトンネル工事現場
(発進立坑、発生土受入地、鋼製連壁、
柱状式連壁)



・講演再録、夏期セミナー参加記は部会誌次号に
掲載する予定



□PSWG (ポジション・ステートメントWG)

- ポジション・ステートメント(以下、PS)のより一層の認知度向上及び、タイムリーなPS発信を目指して、**PSの枠組みやプロセスの見直し(PS改革)**についてWGにて協議を実施。今年5月末に開催された**前期の理事会の最終会合**において**関係規則類が確認・承認**。
- 今後、公開済みPSの見直し作業から着手(次ページ参照)
- 公開済みPSの見直し作業については、PSWGでの準備(見直し手順の具体化、再提案に至る詳細手順の策定等)が整い次第、該当PSについて指定されるものと考えられる。

□日韓原子力学生・若手研究者交流事業運営小委員会

- 当部会担当の交代を事務局に連絡
- 今原子力学会秋の大会期間中にメール審議にて運営小委員会を開催



①企画C報告（参考）

□PSWG (ポジション・ステートメントWG)

➤ (参考)PS改革の要点は以下の通り。

- ① PS発信責任者(=理事会)の明示。
- ② PSの区分を「宣言」「提言」「見解」の3区分とする(現行の「解説」「その他」は廃止)。
- ③ プレスリリース等で社会に発信したメッセージは、一定期間HP上で公開することが適切と判断したものはブラッシュアップしてPSとしてHPに掲載。今後は、これをPS作成の基本とする。
- ④ 新たなPSは③の他、所属部会等を通じて誰でも提案できるが、最終判断は理事会。
- ⑤ すべてのPSはそれぞれに期限を設けて公開し、定期的に見直す。
- ⑥ 公開済みPSは、新たな区分に整合するか検討したうえで、そぐわないものは担当部会の管理に移行。
- ⑦ PSWGは広報情報委員会の下部組織とするが、理事会の責となるPSの策定・管理を支援する組織と位置付ける。

➤ (参考)BE部会に関する公開済みPSは以下の通り。

- AESJ-PS003 高レベル放射性廃棄物の地層処分 (提言)
- AESJ-PS011 クリアランス (解説)
- AESJ-PS019 ガラス固化技術 (解説)



②広報報告

【R5年度 部会HP小委員会活動】

1. 部会ホームページの管理・運用(4/1～8/31)

<https://nuce.aesj.or.jp/>

- ・「2022 年度バックエンド週末基礎講座」参加報告の掲載
- ・バックエンド部会誌Vol.30, No.1のHP掲載 ・2022年度部会表彰報告
- ・第39回バックエンド夏期セミナー〔開催案内〕の掲載
- ・ICRPサテライトイベント開催のHP掲載

2. バックエンド部会情報メールサービス(メーリングリストによる情報連絡)

お知らせとお願い

メール配信開始/停止, アドレス変更は部会員からの申告によって行います。(部会加入と連携していません)
 配信エラーが続くと自動的に配信停止となります。

メール配信ご希望の方, アドレスの変更があった方は広報担当までお知らせください。

e-mail: info@nuce.aesj.or.jp (部会ホームページをご覧ください)

3. ホームページ小委員会メンバー(青字は新規)

齋藤 龍郎	原子力機構	広報委員(2022～)	HP更新, メール配信等の窓口, 運営小委員会との連絡調整
小林 大志	京都大学	広報委員(2023～)	同上
佐々木 隆之	京都大学		運営全体の俯瞰, 企画・提案
秋山 大輔	東北大学		部会情報メール メーリングリスト管理, メール配信
佐原 聡	原環センター		HPサーバー運用・管理(主担当)
平野 史生	原子力機構		HPサーバー運用・管理



■ 開催目的・趣旨

- 放射性廃棄物の処理処分などの原子力に関するバックエンド分野の基礎的な知識を身につけていただくことを目的として開催いたします。また、参加者相互の交流の機会を提供するものです。
- 当分野に興味をお持ちの学生の皆さまや、新たに業務や研究に携わる方々だけでなく、すでにこの分野でご活躍の方々に、改めて関連する知識を確認されたい方など、広くご参加いただけます。
- 本年度はアンケートで好評を得たオンライン開催を予定しています。

■ 日程 11月17日(金) 9:00頃～17:00頃(予定)

■ 場所 Zoom会議室によるオンライン開催

■ 参加費 学会員 1,000円、非会員 2,000円、学生 無料

週末基礎講座の詳細につきましては、開催1ヶ月前を目途に部会ホームページおよび部会メール情報サービスにてご案内予定です。

③出版報告 【部会誌の発行】



■ 部会誌「原子力バックエンド研究」 Vol.30 No.1をウェブサイトで公開中

巻頭言	佐々木隆之	バックエンド部会の不易流行
研究論文	中田弘太郎	波長スキャンキャビティリングダウン分光法を用いた水素酸素同位体比分析への適用を目的とした微量サンプルからの塩分・微粒子除去法の検討
特集：2022年度バックエンド週末基礎講座		
会議参加記	花房拓豊	「2022 年度バックエンド週末基礎講座」参加報告
講演再録	坂本義昭	核燃料サイクルとバックエンドの基礎
	大部祐一	バックエンド週末基礎講座 原子力施設の廃止措置における現状と課題
	藤原健壮	バックエンド週末基礎講座 地層処分研究の概要について
会告		2022年度バックエンド部会表彰 バックエンド部会 関連行事予定

敬称略

③ 出版報告 【出版小委の新体制】



役職名	仕事概要	2023年度担当者（敬称略）	所属
編集長	全体の工程管理	川崎 大介	福井大学
副編集長	査読付き論文ハンドリング	鷹尾 康一郎	東京工業大学
委員長	全体の取り回し、運営小委・学会事務局との連絡	中林 亮	電力中央研究所
	査読なし原稿ハンドリング		
副委員長	委員長補佐＋工程管理補助	高橋 友恵	株式会社IHI
出版幹事	原稿（査読あり原稿は査読終了後、査読なし原稿は受領後）の出版（先行公開および部会誌）に向けての事務的仕事の統括	関口 高志	戸田建設株式会社
編集幹事	レイアウトを統括	北城 諒一	日本原燃株式会社
レイアウト担当	レイアウトの実施、原稿のレイアウト確認	西尾 光	原子力発電環境整備機構
		湊 大輔	電力中央研究所
		中島 均	清水建設株式会社
		山田 淳夫	株式会社安藤・間
CD化 J Stage	CD化、J-Stage、会計を統括	山口 正秋	日本原子力研究開発機構
	論文のCD化	山田 文香	原子力環境整備促進・資金管理センター
	査読付き論文等のJ-stageへの登録	邊見 光	日本原子力研究開発機構
会計担当	支出、収入の会計処理	清水 洋平	大日本ダイヤコンサルタント株式会社
HP	HP関連	古川 静枝	電力中央研究所

④庶務報告 【支援制度】

【海外発表助成制度】

- 若手研究者の海外発表に関する渡航滞在費を助成
- 半期あたり原則1名を対象に13.5万円を限度に助成
- 詳しくは部会ホームページに掲載の募集要領を参照
- 2022年度実績：上期分(2月10日締切) 応募なし
下期分(8月10日締切) 応募なし
- 2023年度実績：上期分(2月10日締切) 応募なし
下期分(8月10日締切) 応募なし



【研究会支援制度】

- 部会員から研究テーマを公募して研究会を設置
- 研究会の費用を年間13.5万円までを目安に支給
- 会期は最長3年とし、適宜成果を取りまとめて発表
- 詳しくは部会ホームページに掲載の募集要領を参照
- 2022年度実績：応募なし
- 2023年度実績：8月末時点で応募なし



④庶務報告 【優秀講演賞】

- 2023年春の年会において、
優秀講演賞を1名選出、
 学生会員を対象とした**学生優秀講演賞を1名選出**

	バックエンド 対象講演数※	内,学生会員 講演数
2023年 秋の大会	175	36
2023年 春の年会	84	24
2022年 秋の大会	129	28
2022年 春の年会	76	25



※)「放射性廃棄物」、「廃炉(廃止措置)」、
 「地層処分」のいずれかのワードを
 含む一般セッションにおける発表

各座長の採点結果に基づき、本大会における学生優秀講演賞、優秀講演賞を選出
 ⇒ 2023年春の年会、秋の大会の優秀講演賞を2024年春の年会全体会議
 において表彰予定



※予算実績推移表2023年7月度に基づく

通常予算収支(単位:円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
受取掲載料	0	旅費交通費	0
受取配分金	339,000	通信運搬費	5,238
		消耗品費	0
		一般外注経費	2,420
		諸謝金	0
		雑費	0
		支払助成金(事)	0
<小計>	339,000		7,658
		<収支>	331,342
<予算計画額>	589,000		855,000
<執行率>	58%		1%

BE部会会費

HPサーバー代金

J-Stage登録費

- ✓ 収入の部: 受取掲載料は7月時点未計上。受取配分金(BE部会会費)は予算計画通り
- ✓ 支出の部: 部会HP用レンタルサーバー代、J-stage登録費などの定例的な支出

上期(4月~7月)の支出は少なく、通常予算は現時点で約33万円の黒字。



※予算実績推移表2023年7月度に基づく

セミナー予算収支(単位:円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
受取参加費	0	会議費	0
		通信運搬費	0
		消耗品費	0
		一般外注経費	0
		出展費	0
<小計>		0	0
		<収支>	
		0	0
<予算計画額>		1,670,000	1,404,000
<執行率>		0%	0%

✓ 収入の部: } 夏期セミナーの実績額が未確定のため次回報告予定
 ✓ 支出の部: }

夏期セミナーの参加費収入(約50名)の実績等も加味して、
 年度収支として赤字回避を今後も志向



全体収支(単位:円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
通常予算	339,000	通常予算	7,658
セミナー予算	0	セミナー予算	0
<合計>	339,000		7,658
		<収支>	331,342
<予算計画額>	2,259,000		2,259,000
<執行率>	15%		0.3%

上期(4月—7月末)は、予算計画通りの執行状況。
支出の多い下期の予算執行に留意して、引き続き適切な予算管理に努める。



なし



Fin.